

# SDTs 慶びお裾分け演劇祭について

## 捨組 20th anniversary ロングラン演劇祭

今年、結成から 20 周年を迎える劇団「捨組（すてぐみ）」のアニバーサリー企画として、2025 年 8 月、福島県福島市の ATELIER ブリコラージュにて、捨組ゆかりの 10 団体が参加する演劇祭を開催します。3 団体のレギュラープログラムと 7 団体の週替わりゲストが毎週出演し、8 月のお盆を除いた 4 週間にわたるロングラン公演です。

## 多彩なラインナップ

週替わりゲストには、新潟県新潟市や宮城県仙台市、山形県山形市、福島県いわき市など各地から実力団体を招聘するほか、福島県伊達市の社会人落語家も出演。捨組が 20 年間で培ったネットワークにより、バラエティに富んだラインナップを実現しました。福島市の 3 団体によるレギュラープログラムには、捨組（S）のほか、演劇ユニオン大紅蓮（D）、シア・トリエ（T）が出演。若手実力派の高橋成知氏（きのこ集団 Protomass・郡山市）をプログラムディレクターに迎え、氏のキュレーションによる日本近代文学の隠れた名作を揃えたユニークなプログラムを構成しました。

## 捨組、3 本を週替わり上演！

主催の捨組は上記のほか、さらに 2 本の作品を上演いたします。プログラムディレクターによる課題プログラム 1 作品と、新作書き下ろしおよびレパートリーによるフリープログラム 2 作品の計 3 本を上演するチャレンジにもぜひご期待ください。

## 日程

2025 年 8 月 2 日～31 日（各週の各 1 日、土・日に開催）

## チケット

前売 2,500 円、当日 3,000 円、学生 1,500 円、一幕見 1,000 円  
シングル公演 1,000 円、ダブル公演 1,500 円、小中学生（保護者同伴に限る）無料

※一幕見券は日時指定、土日公演の1作品のみをご覧いただけるチケットです。各公演日の前日のみ販売いたします。

※各公演のおおよその開始時間は一幕見券販売時にアナウンスいたします。当日の進行により多少前後する可能性がありますので、一幕見をご希望の方はお時間に余裕を持ってお越しください。

※一幕見券はメール予約のみ受付

※学生券は公演当日、受付にて学生証をご提示ください。

※小中学生同伴の場合はメール窓口からご予約ください。

◀販売窓口> (販売開始 2025年6月20日(金))

・Livepocket-Ticket (<https://t.livepocket.jp/e/sdts-festival>)

・メール窓口 ([stegumis@gmail.com](mailto:stegumis@gmail.com))

## 会場

ATELIER ブリコラージュ (<http://www.toriking.net/bricolage/>)

福島県福島市置賜町8-30 カスタムビル2F (福島置賜町郵便局2F)

※JR 福島駅より徒歩10分 ※会場に駐車場はございませんので、近隣の有料駐車場をお使いくください。

## 出演団体・上演作品

### レギュラープログラム

捨組【福島県福島市】

あの場所、ふたり、あまやどり。

---

その日男は、女の前に「あるモノ」と共に現れた。 雨の降らない小さな町の小さなお店。 それは、そこで起きたちょっとだけ不思議な物語。 いつもの雨。知らない店。ひらいたページ。 そして、少しの出来事を。

---

作／演出：紺野ステカセ (捨組)

出演：鳥居裕美 (捨組) 鈴木啓史 (劇団 MOYU) 船橋和 (劇団 MOYU)

上演日：8/2(土)、8/3(日)

## ゲスト出演者プロフィール



### 鈴木啓史（すずきひろふみ）

1994 年生まれ。演出家、劇作家、俳優。日本工学院専門学校卒。2013 年より俳優のヨシダ朝、オーハシヨースケ、演出家の大内三郎、モダンバレエダンサーの高橋誠子各氏に師事。2014 年からは東京都・シアターX にて作品を発表。2016 年に山形県上山市にて劇団 MOYU を旗揚げ。独自メソッドである「状態」を使い「祈り」をテーマにした作品を発表。



### 船橋和（ふなはしなごみ）

俳優。アメリカ在住。小学生から演劇を始め、高校生で MOYU 作品に参加。2020 年、劇団 MOYU に入団。丁寧な役作りが評価されている。自身の代表作である「状態」作品「ImI」では、自らの苦悩を得意の英語も取り入れ上演した。外部公演も出演多数。

**胸をさすこともある。（あたし。Doze Edit）**

---

今日、僕の家新しい家族が来てくれるコトになってたんですね。あんなイジワルな兄な  
んかよりも優しい……今日限りの家族なんですけどもネ……。不安と期待をモグモグしな  
がら待っていると、玄関をドンドン叩く音がしたんです。急いで開けたら、その方はナイ  
フを持って立ってたんです。とりあえず家に上がってもらいました。

---

作：高橋成知（きのこ集団 Protomass）

演出：紺野ステカセ（捨組）

出演：鳥居裕美（捨組） 佐藤隆太（シア・トリエ） 金城竹彦（きのこ集団  
Protomass）

### **プログラムディレクターからのメッセージ**

古いビデオデッキでテープを再生させて、無邪気につまみいじって映像と音声をカクカク  
ドロドロさせて遊んでいる。こんなイメージで捨組さんは演劇を作っているように思っ  
てるんです。童心を忘れないが、純真なゆえのおっかなさ、捨組さんにプロトマスの赤ちゃ  
んアザラシみたいな不条理系芝居を預けたら、どんなキャワワアザラシに成長するのか、  
ワクワクです、

上演日：8/9(土)、8/10(日)

### **ゲスト出演者プロフィール**



金城竹彦(きんじょうたけひこ)

2001 年生まれ。福島県石川郡玉川村出身・在住。高校から演劇を始め、2016 年にきのこ集団 Protomass に参加。進学で一時神奈川に拠点を移すも、敢えなく撃沈。一昨年度暮れに、故郷へ帰還し、福島を拠点に活動中。

## 象とロープ

---

ねえねえ、おひさまはさ、ポカポカあったかくってさ、いっつも私を明るく照らしてくれるんだけどさ、でもでも、それってあなたとおんなじだって、気が付いたんだよ。だから私は・・・私は・・・なんだっけ？

---

作／演出：紺野ステカセ（捨組）

出演：鳥居裕美（捨組） サトウマナミ

上演日：8/30(土)、8/31(日)



## 捨組

2005 年結成。以来プロデュースユニットとして活動。シニカルかつアイロニカルな切り口で、ある一定のシチュエーションにおける群像劇を展開。目下己のスタイルを模索中。

## シア・トリエ【福島県福島市】

### 霧の中

昭和が始まった頃のサナトリウム。入院患者である得能とてる子、この一組の男女が繰り広げる禁断の恋の駆け引き。互いに惹かれながらも、夫を持つてる子と得能の対話はぐずぐずと一進一退を繰り返し、もはや笑いすら誘う。結核が「不治の病」として恐れられていた時代。「死」と「恋」が霧の中、組んず解れつ押し寄せる。

横光 利一（1898 - 1947）

福島県北会津郡東山村（現会津若松市東山町）生まれ。小説家・俳人・評論家。菊池寛に師事し、川端康成と共に新感覚派として大正から昭和にかけて活躍。『日輪』と『蠅』で鮮烈なデビューを果たし、『機械』は日本のモダニズム文学の頂点と絶賛された。

作：横光利一

演出：大信ペリカン（シア・トリエ）

出演：佐藤隆太（シア・トリエ） 相良咲 鳥居裕美（捨組）

### プログラムディレクターからのメッセージ

独自のブローケンな文法と病的な執拗さで構築される不条理な会話劇『霧の中』。作品本来の味わいを丁寧に引き出しながら、意表をついた大胆さで古き良き大衆文化の味付けをしていくシア・トリエさんのマジック。この作品とペリカンさんが混ざりあったら、どんな化学変化が起こるンでしょうか、横光利一の背中から永六輔がこんにちはしてる光景が.....。

上演日：8/2(土)、8/3(日)、8/7(木)、8/23(土)、8/24(日)、8/30(土)、8/31(日)



### シア・トリエ

1996 年旗揚げ。ポップとアート、古典と新作の間をうろうろしたりミクスチャしたりしながら、演劇表現の追求と探求を目指す。福島県福島市の ATELIER プリコラージュという

狭小スペースを拠点に、東京都、仙台市、ドイツ・ミュンヘン、韓国イエサンなど、県境や国境あらゆるボーダーを超えて公演を行う。

## 演劇ユニオン大紅蓮【福島県福島市】

### アスパラガス

大変！書けない物書きの二十年の結婚生活が破壊されそう！みんなで書けない物書きが生活能力を失わないように応援しよう！がんばれ～！書けない物書き！！秋田雨雀の短編戯曲を大胆アレンジ（予定）！デカイ音も出るぞ。

秋田 雨雀（1883 - 1962）

青森県南津軽郡黒石町（現黒石市）生まれ。小山内薫のイプセン研究会の書記をつとめ、戯曲への関心を深める。小山内薫の自由劇場や、島村抱月主宰の劇団・芸術座の創設に参加。1934年には、新協劇団結成に参画し事務長となり、雑誌「テアトロ」を創刊。

原作：秋田雨雀

構成／演出：菱沼直人（演劇ユニオン大紅蓮）

出演：佐藤隆太（シア・トリエ） 増子ツグミ（潮汐机案） 相良咲 霜山亜美（劇団120〇EN）

### プログラムディレクターからのメッセージ

大正昭和初期当時の世相、人間模様を毒を持って描いたドタバタコメディ。『喜劇アスパラガス』に相対するは、近鉄のブライアントがアクセルベタ踏みで野原をデケェ声で爆走するみたいな、幻惑的な凶暴さを持つ演劇ユニオン大紅蓮。現代にも通ずるような時事を、いかほどの苛烈極まる文明批評にアレンジしていくのか、想像するだけでゾクゾクするネ。

上演日：8/9(土)、8/10(日)、8/11(月祝)、8/23(土)、8/24(日)、8/30(土)、8/31(日)



演劇ユニオン大紅蓮



総長こと菱沼直人が福島県立橘高校在籍時代に旗揚げした劇団。結成九年目。あまりにデカイ音が大好きすぎて劇場の音響機器を破壊した容疑がかかっている。最近は団員の進学・就職に伴いほぼ客演のみで公演をしているので劇団員募集中。

### ゲストプログラム

**中家すづめ（あたりやすづめ）【福島県福島市】**

**講談／落語（演目は当日決定）**

上演日：8/2(土)、8/3(日)



**中家すづめ**

落語と講談と猫と King Gnu が好きな会社員社会人落語家。気がついたら、私も今年 20 周年でした。東北の落語仲間たちと地元伊達市や福島市で落語会を継続的に開催する。『ふくしまで落語をやろう会』代表。

**球（きゅう）【福島県いわき市】**

**蒸発**

---

隣家の男を双眼鏡でのぞく、子供のような女がいる。彼女は男の家のテレビを見ている。音が聞こえないので、独自に音声をつけ加え、同時中継をしている。いつの間にか、彼女はそれを「役割」のように思っている。同居の女たちがそれを聞く。初めこそ



奇妙に思ったが、いつしか慣れて、気にならなくなっている。そしていつしかその声が、彼女たちの唯一の情報源になっている。三日経ったら三日分、一年経ったら一年分慣れ親しんで、なりゆきはどんどん重くなる。私の中のなりゆきの分量が増えて、もはや私はなりゆきから出来ている。でもある日、断ち切られる。蒸発するみたいに、物事が終わる。焼き付いた影に、ぎょっとする体もだらしなく垂れ下がって、揺れている。

---

作：西尾佳織（鳥公園）

演出：ハギハラヒロキ（球）

出演：寺島恵実 松本恵美子（いわき小劇場）

上演日：8/30(土)、8/31(日)



## 球

福島県を拠点に活動する劇作家・演出家のハギハラヒロキが主宰する小さな劇団。2012年より活動を始める。毎回、他の劇団とコラボしながら公演を打つスタイル。福島という土地で演劇を生み出すための、ゆるやかな共同体の在り方を模索している。

## 先川史織（Accendere）【新潟県新潟市】

### その先へ

---

川崎理央、女、38歳、アイドル志望。プライベートは非リア充、オーディションは連戦連敗。だけど笑顔は絶やさない。だってわたしアイドルだから！

---

作：中村ノブアキ（JACROW）

演出：岡田康之（Accendere）

出演：先川史織（Accendere）

上演日：8/9(土)、8/10(日)



### 先川史織

Accendere 代表。俳優。新潟明訓高校演劇部を経て劇団マジカルラボラトリーに所属。その後フリーランスとなり、数多くの劇団の公演に出演。継続的な演劇創作環境を求め、2015 年に Accendere を旗揚げ。正統派ヒロインから飛び道具までこなす安定感が持ち味。ビールはラガー派、チーズは無党派。

### 佐藤隆太【福島県福島市】 夢見る患者のベリーロール

---

土砂降りの夕暮れの中、懐かしい音楽が聞こえた。雨をうけながら男は、今、何を想うのだろう。キラキラと輝く七色の虹は、あの日の空を、ただ、乱暴に染めた。

---

作／演出：紺野ステカセ（捨組）  
出演：佐藤隆太（シア・トリエ）  
上演日：8/2(土)、8/3(日)、8/20(水)、8/26(火)



### 佐藤隆太

シア・トリエ所属。福島市を拠点に俳優活動をしています佐藤隆太でございます。最近山形にもよく出没しております。なんとこの度、脚本と演出に捨組の紺野ステカセ氏を迎え、一人芝居に挑戦します。福島で一人芝居をするのはこれが初となります。シア・ト

リエに捨組と大紅蓮、その上一人芝居までやろうというのです。どうも、歩く自己顕示欲です。

## **サムライスパーク【宮城県仙台市】**

### **サムライキサラ**

---

とある交差点に出ると噂されている「人の良すぎる地縛霊キサラ」が繰り広げる、コミカルながら、今の世に欠けた大切なものを思い出させてくれるとても優しい一人芝居。

---

作／演出：横山真（丸福ボンバーズ所属・劇団ざくろう代表）

出演：キサラカツユキ

上演日：8/23(土)、8/24(日)



### **サムライスパーク**

仙台市を拠点に活動する「演劇家」横山真（丸福ボンバーズ所属・劇団ざくろう代表）と俳優キサラカツユキ（フリー・せんだいスタンダップコメディラボ）によるユニット。2022年8月初演の一人芝居『サムライキサラ』は仙台市、石巻市に加えて大阪でも上演。ユニット名は去年勢いと思い付きで命名。

## **潮汐机案（ちょうせききあん）【福島県福島市】**

### **マジメ**

---

マジメの父はアルバイト マジメの兄は地区大会マジメの母はいないけど 今日もある子と待ち合わせ真面目の眼差し。黄金のころ。あるいは、せめて、チャイムの壊れた休み時間。

---

作／演出：増子ツグミ（潮汐机案）

出演：増子ツグミ（潮汐机案）

上演日：8/9(土)、8/10(日)、8/11(月祝)、8/26(火)



### 潮汐机案

福島市出身、増子ツグミが大学演劇、演劇ユニオン大紅蓮所属を経て、再出発するための団体です。「ひとつの世界にふたつの空想」を掲げ、この演劇祭を機に立ち上がりました。小劇場に拘り、物語の役割を求めます。かかとが起動スイッチで（本体に）3度の衝撃を与えると飛行します。団員募集中です。

### フラヌール【山形県山形市】

#### 穏やかさ

---

ガザで起きていることを考えながら書きました。暴力的なこの世界で、傷つき、傷つけながら生きていくこと引き受けようとする、小さな「この部屋」の物語です。

---

作／演出：佐藤瑞樹（フラヌール、劇団 MOYU）

出演：佐藤千尋（フラヌール） 田中克典（フラヌール、劇団 MOYU）

上演日：8/23(土)、8/24(日)



### フラヌール

2024 年、第一回公演『海へ向かう』で旗揚げ。メンバーは山形大学の演劇サークル演劇集団舞台工房出身者で構成。離れた人や土地に思いを馳せながら、〈いま・ここ〉の私たちの生が肯定される作品づくりを目指して活動中。劇場空間が多重化される観劇体験が好評を博している、と思い込んでいる。

### スタッフ

プロデューサー：鳥居裕美（捨組）

レギュラープログラム・プログラムディレクター：高橋成知（きのこ集団 Protomass）



### プロフィール

1998 年生まれ。福島県三春町出身・在住。 2015 年、郡山市内の高校演劇部有志で「きのこ集団 Protomass」を結成し、代表、脚本、演出を務める。不条理系とオカルトとお笑いが好き。コソコソ生きてます。ア、『バックジャナカロカ・ルンバ』のレコードを探しています。

舞台監督：菱沼直人（演劇ユニオン大紅蓮）

照明統括：磨由佳里（シア・トリエ）

音響統括：大信ペリカン（シア・トリエ）

宣伝美術：紺野ステカセ（捨組）

広報：V 型ジャージ

## 主催

捨組、ATELIER ブリコラージュ

## 後援

福島市教育委員会、福島民報社、福島民友新聞社、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、福島テレビ、ラジオ福島、ふくしま FM、FM POCO

## お問い合わせ先

捨組（鳥居） [stegumis@gmail.com](mailto:stegumis@gmail.com)

## 特設 HP

<https://sdtsfes.wixsite.com/2025>

## 公式 X

<https://x.com/SDTs2025fes?t=nCwSMj6D6Wam4TbCoE2riw&s=09>